

中期経営計画 (サステナビリティ戦略)

株式会社エンビプロ・ホールディングス
(証券コード : 5698)

2022年8月23日

目次

1. 中期経営計画

2. 参考資料

企業理念

「創業企業」「循環企業」「求道企業」

エンビプロ・ホールディングスが最も大切にする価値観でありDNA
[時間軸無し]

ミッション

「持続可能社会実現の一翼を担う」

エンビプロ・ホールディングスが現在世の中に存在する意義であり、一定の時間軸での目的・志
[2050年までの30年間]

戦略コンセプト

「脱炭素社会」「循環型社会」「分散型社会」実現に向けた
課題解決を事業機会としてチャレンジしていく

事業コンセプト

サーキュラーエコノミーの
具体的な事例の実現

組織のイメージ

創発的能力を備えた
自律した個人の規律ある集団

長期トレンド

GX

グリーントランスフォーメーション

DX

デジタルトランスフォーメーション

中期・短期トレンド

グリーンバリューチェーン
構築の要請

国際資源獲得競争の高まり

廃プラスチックに関連した
社会課題の表面化

非ITビジネスにおける
データ活用

IoT, AI, Robotics
活用事例の増加

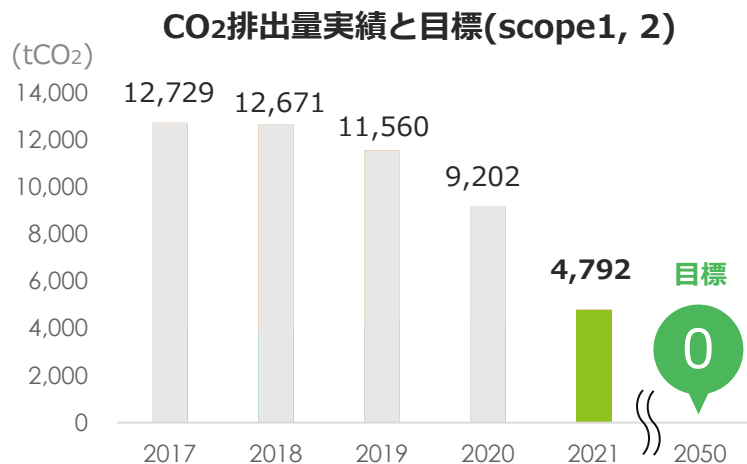
人材獲得競争の高まり

マテリアリティ
の特定

- ・ サプライチェーンにおけるグリーンマテリアルの需要増加
 - ① 電炉増設による鉄スクラップの需要増加
 - ② 電化による非鉄金属・レアメタルの需要増加
 - ③ 廃プラスチックの高度な資源循環促進
- ・ 生産プロセスにおける省人化、事業活動におけるデータ活用の促進
- ・ 事業活動を推進する人材への投資

低炭素プロセスによる地上資源由来の素材メーカーに変革 (QCDC)

Q (品質) C (コスト) D (納期) で、一流の製造業に匹敵するレベルになる
その上で、C (カーボンニュートラル) の要素を加えた製造プロセスをつくる



再エネ率は現時点で**97%**を達成済み

→ CO₂排出量は**62%**削減 (2017-2021)

*RE100を推進し、工場のCO₂排出量の削減

低炭素プロセスによる生産→低炭素な原材料・燃料の供給

*RE100 : 事業運営に要する電力を100%再生可能エネルギーで調達することを目標に掲げる企業が加盟する国際イニシアティブ
当社は2018年7月にリサイクル業界として世界で初めて、RE100に加盟

中計▶サステナビリティ戦略の目標 (2023.7-2027.6)



売上高



経常利益



ROE

2027.6

750億円

CAGR(2023→2027) 8%

50億円

CAGR(2023→2027) 15%

13%

2023.6

550億円

29億円

12%

2022.6

573億円

41億円

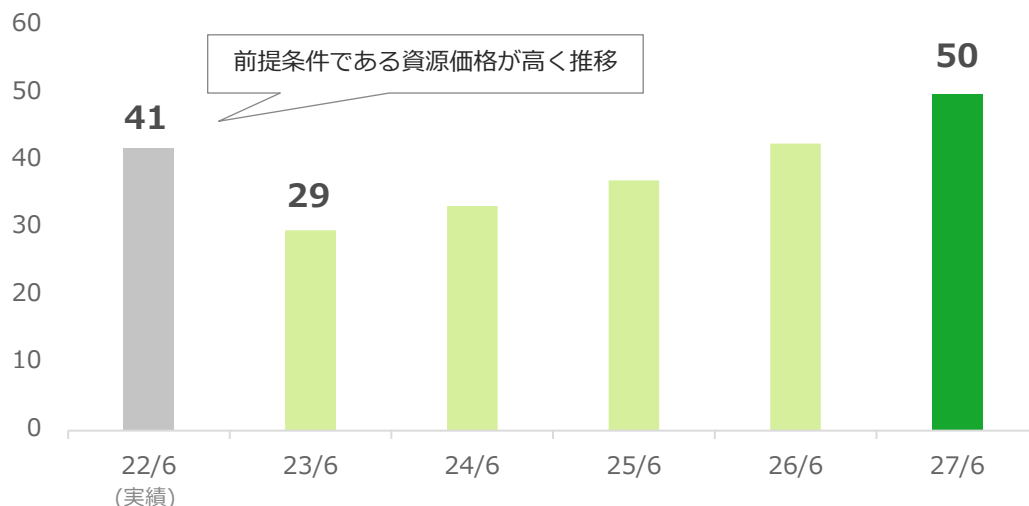
22%

前提条件 (2022年7月以降)

| 鉄スクラップ | 電気銅 | 金 | 銀 | ニッケル | コバルト | 為替 |
|-----------|-----------|----------|------------|-----------|-----------|----------|
| 45,000円/t | 1,050円/kg | 7,000円/g | 85,000円/kg | 2,650円/kg | 7,000円/kg | 125円/USD |

連結経常利益目標の推移

(単位：億円)



2022年6月期は資源価格が大きく上昇



利益増加に伴い、内部留保が増加



大胆な投資による成長を見越し、
中計を新たに作成

直近5年間の投資額約60億円から、今後5年間で200億円に増額



200億円



既存事業への投資

- ・ 工場の拡張
- ・ 新技術導入、DX推進
- ・ 環境整備、安全対策の強化



成長事業への投資

- ・ リチウムイオン電池リサイクル事業
- ・ プラスチックの高度リサイクル事業
- ・ 人材と知財の確保



M&A等への投資

- ・ 成長の加速
- ・ シナジー創出
- ・ 成長企業との提携

| | |
|-----------------|---------------|
| 2027.6目標 | |
| 売上高 | 280 億円 |
| CAGR(2023→2027) | 9% |
| 2023.6予想 | 195億円 |
| 2022.6実績 | 203億円 |

| | |
|-----------------|--------------|
| 2027.6目標 | |
| 経常利益 | 38 億円 |
| CAGR(2023→2027) | 14% |
| 2023.6予想 | 22億円 |
| 2022.6実績 | 27億円 |

既存事業をベースに、更なる成長のため以下の取組みを実施

① 焼却灰からの金銀滓回収と焼却灰の資源化

- ・ 落じん灰からの金銀滓回収
- ・ 主灰からの金銀滓回収と主灰の資源化
- ・ 金銀滓の湿式製錬プラント導入

② 全国広域での片付け・解体工事

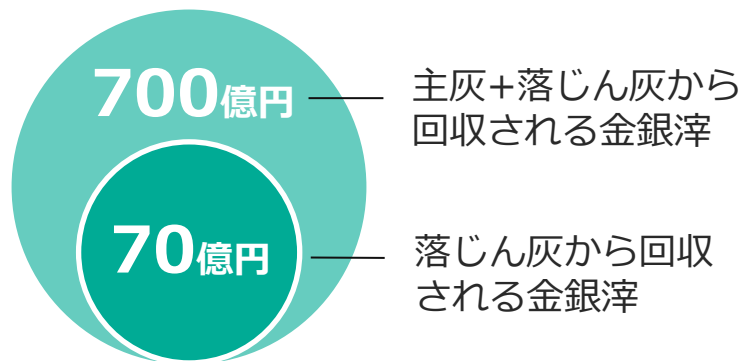
- ・ 全国広域の案件確保
- ・ 安全、技術、人的レベルの向上
- ・ 協力会社のネットワーク整備

③ プラスチックのリサイクル

- ・ 新たな技術開発促進
- ・ 新たな法整備への対応
- ・ 自治体との関係性強化

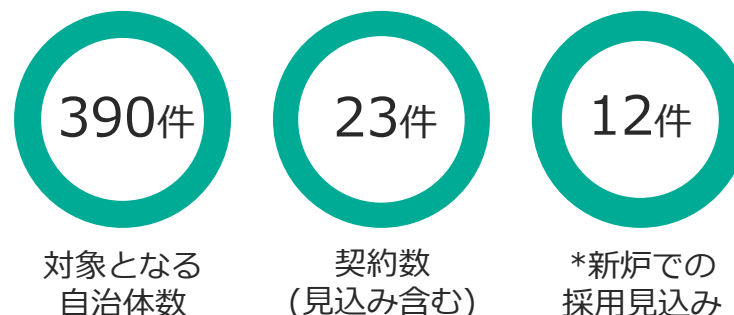
焼却灰等からの金銀滓の回収を事業の柱の1つにする

焼却灰からの金銀滓マーケット

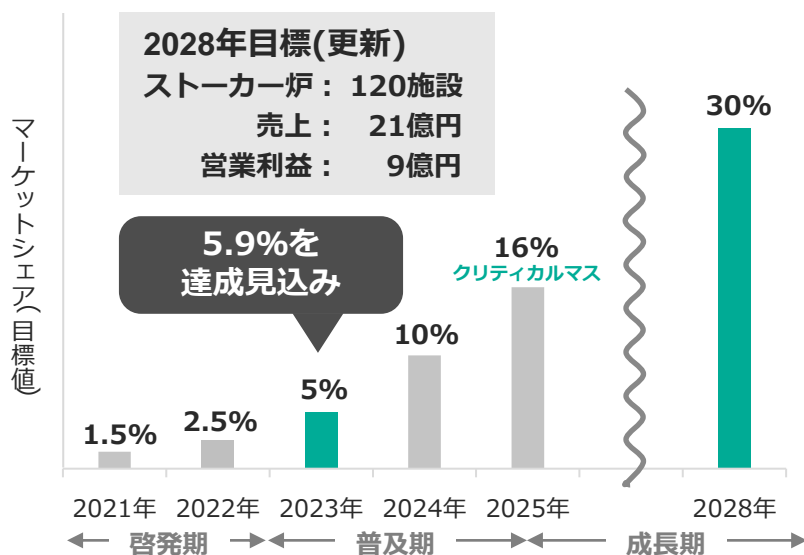


*当社調べ

落じん灰からの金銀滓回収の進捗



*落じん灰別どり仕様の新炉



*2021年2月22日決算説明資料より

金銀滓回収プラント建設 (グループ3機目)

- ・設置場所 クロダリサイクル (北海道函館市)
- ・最大処理能力 18,000 t/年
- ・総投資予定金額 約2億円
- ・稼働予定時期 2022年11月



新工場建設

- ・建設予定地 エコネコル (静岡県富士市)
- ・敷地面積 13,259m²
- ・総投資予定金額 約18億円
- ・稼働予定時期 2023年1月



工場・プラント解体等で、物件を保有する会社及び物件情報に近い会社・団体
(金融機関、不動産会社、物流会社、メーカー) との協業モデルを拡充

三井住友トラスト・パナソニックファイナンス及び
日本機械リース販売との業務提携(2021年11月12日公表)

中古機械の買取
(中古価値)

日本機械リース販売

工場の動産設備や付帯設備を一括買取

**建物解体・不要な設備などの処分を
ワンストップで解決**

スクラップ処理・買取
(資源価値)

エコネコル

不要な材料や中古価値として買取出来ない
動産についても資源価値での買取が可能

工場・設備の解体
(資源価値)

エコネコル

工場・工場内設備の一括解体・撤去により工事費用を削減
解体から発生するスクラップを資源価値にて還元

工場・設備・機械

建物や設備の解体

産業廃棄物

**資産評価を共同実施
譲渡、処分、事業再編等の意思決定支援**

事業機会の増加

資源価格上昇による
顧客廃棄費用の減少

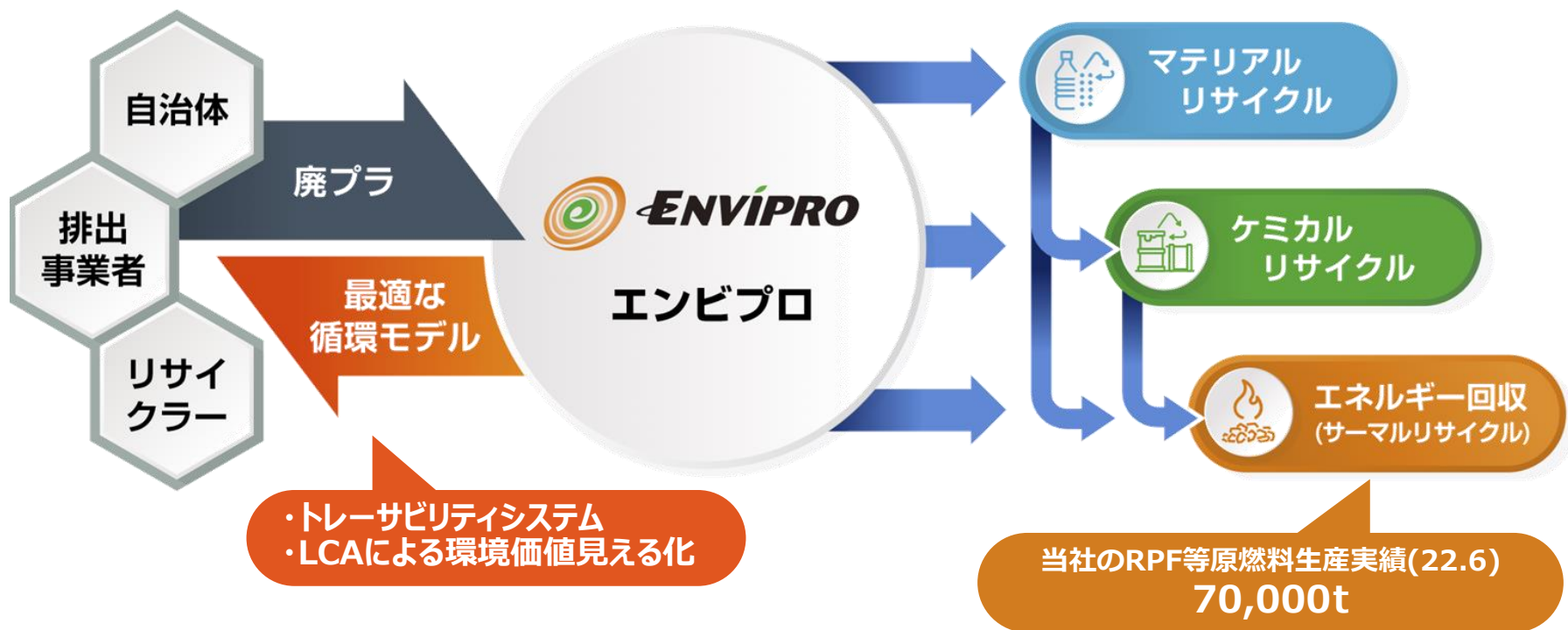
リース事業における
資産保有高の増加

脱炭素関連の設備投資
の活性化

今後の注力

- ① 金融機関等との連携強化
- ② 海上輸送による大型案件への対応
- ③ 協力会社のネットワーク整備

3つのプラスチックリサイクル手法の組み合わせによる資源循環の高度化



ソフト

- ・ CEトレーサビリティシステム開発中
- ・ CO₂排出量算定関連システム開発中

ハード

- ・ TBM横須賀リサイクルプラント (マテリアル)
- ・ ケミカルリサイクル新規事業開発中 (ケミカル)
- ・ RPFなど既存リサイクルプラント (サーマル)

| | |
|-----------------|---------------|
| 2027.6目標 | |
| 売上高 | 520 億円 |
| CAGR(2023→2027) | 6% |
| 2023.6予想 | 413億円 |
| 2022.6実績 | 429億円 |

| | |
|-----------------|--------------|
| 2027.6目標 | |
| 経常利益 | 15 億円 |
| CAGR(2023→2027) | 12% |
| 2023.6予想 | 9億円 |
| 2022.6実績 | 11億円 |

① 資源流通 取扱量の拡大

- ・国内外の鉄鋼、非鉄、その他メーカーとの連携強化
- ・輸入および三国間貿易の拡大

② 資源流通 取扱品目の拡大

- ・金属スクラップ（鉄、非鉄金属、レアメタル、電子機器、金銀滓）
- ・電池スクラップ（使用済*LIB、*BM）
- ・製紙原料、古布、雑貨、中古鋼材、バイオマス燃料等

③ リユース流通

- ・中古自動車に特化したビジネスモデルの変革
- ・分社化による物流事業の拡大

5年後の取扱量目標

54万トン → **100万**トン

(2022年6月期の取扱量実績)

1 鉄スクラップ

- ・ 国内外鉄鋼メーカーとの販売スキーム構築
- ・ 新規ヤードの開設
- ・ 新規商材の取扱増加

2 非鉄金属等

- ・ 既存ヤードを活用した非鉄取扱量の増加
- ・ 廃LIBの安全な輸入スキームの構築
- ・ 金銀滓の輸入、三国間貿易拡大

3 海外拠点開発

- ・ 欧州にリサイクル施設設立
- ・ 東南アジアにリサイクル施設設立
- ・ 海外現地法人を活用した新規事業開発

| | |
|-----------------|--------------|
| 2027.6目標 | |
| 売上高 | 33 億円 |
| CAGR(2023→2027) | 26% |
| 2023.6予想 | 13億円 |
| 2022.6実績 | 13億円 |

| | |
|-----------------|-------------|
| 2027.6目標 | |
| 経常利益 | 2 億円 |
| CAGR(2023→2027) | 12% |
| 2023.6予想 | 1.2億円 |
| 2022.6実績 | 4.7億円 |

2030年以降の市場の急拡大に向けて、以下の取組みを実施

① 集荷体制

- ・国内外で4ヶ所の*BM工場
- ・国内外同業者からのBM購入
- ・*LIBの安全な輸入スキーム構築

② 生産体制

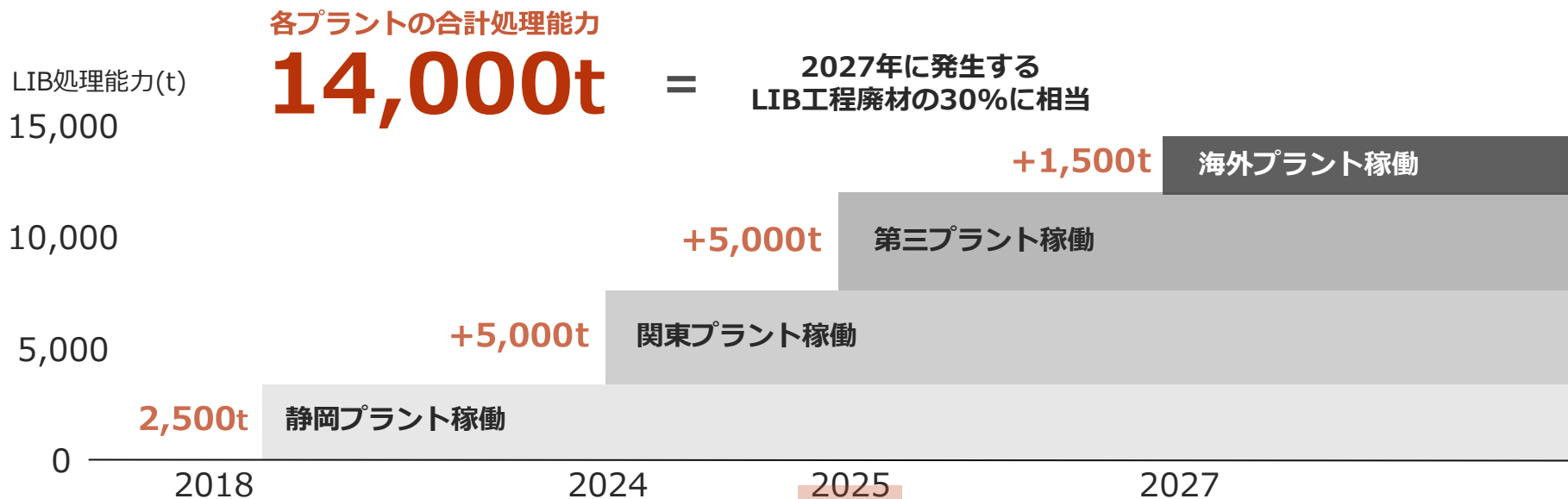
- ・分析、研究体制の充実（研究室5人→15人体制）
- ・自前のプラント設計、施工、メンテナンス体制強化
- ・化学の専門性を備えた社員の育成

③ 湿式製錬プラント

- ・既存の湿式製錬技術活用
- ・新たな湿式製錬技術のスケールアップ
- ・アライアンスの強化

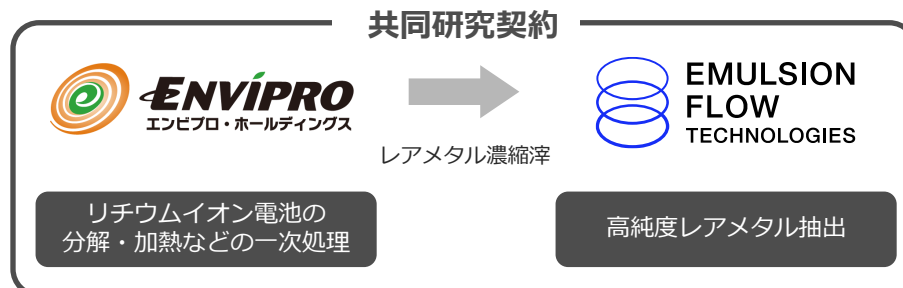
*LIB: リチウムイオン電池 *BM:ブラックマス。カーボンが含有されているコバルト、ニッケルの濃縮滓

積極的な成長投資によりLIBリサイクル処理能力確保



注力ポイント

- ① 100億円規模の投資を想定
- ② BM8,000トン規模の湿式製錬プラント設置 (2025年)
- ③ 新たな湿式製錬技術の商用化により、高純度なレアメタルを低コストで抽出 (右図)



| | |
|-----------------|------------|
| 2027.6目標 | |
| 売上高 | 7億円 |
| CAGR(2023→2027) | 9% |
| 2023.6予想 | 4.8億円 |
| 2022.6実績 | 4.4億円 |

| | |
|-----------------|------------|
| 2027.6目標 | |
| 経常利益 | 2億円 |
| CAGR(2023→2027) | 16% |
| 2023.6予想 | 1.1億円 |
| 2022.6実績 | 1.2億円 |

持続可能社会実現に向けた、環境問題への対応と多様性の推進

環境経営コンサルティング事業



サーキュラーエコノミー
コンサルティング拡大

DX事業の推進

コンサルティング&ソリューションでサーキュラー
エコノミーの一貫サービスを提供

サーキュラーエコノミー及び、*GHG排出量可視化
システムの開発

*GHG:温室効果ガス

障がい福祉サービス事業



明日が"かがやく"ところをつくる

就労移行支援の展開

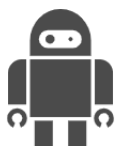
グループ内連携

就労移行支援に加え、自立支援・ひきこもり支援の事業化

障がい者雇用：20名、法定雇用率：3.8%

生産プロセスにおける省人化、事業活動におけるデータ活用の促進

スマート工場



- ・ IoTデータを収集し、異常検知
- ・ 生産工程でのロボット導入
- ・ スマート工場構築ノウハウの横展開

データ活用



- ・ 静脈産業におけるQCDのデータ化
- ・ GHG排出量の可視化、カーボンクレジット調達支援
- ・ 新拠点での収益性向上

トレーサビリティ



- ・ サーキュラーエコノミートレーサビリティシステム開発中
- ・ CO₂排出量算定関連システム開発中
- ・ データの可視化を活かした新規事業創出

(組織イメージ)
創発的能力を備えた自律した個人の規律ある集団



企業理念・文化
= 成長の原動力

～企業文化は戦略に勝る～
(Peter F. Drucker)

1

企業理念浸透への執念

2

明るく開放的風土と喜びの文化

3

相互信頼と主体的学習

4

ビジョン共有とチャレンジ精神

5

愚直な努力と人を大切にする心

5カ年目標
事業推進人材 100人の創出



HD及び、グループ各社の社長候補
 事業立ち上げ、グローバル展開、ファイナンス、
 事業投資判断等の経験を有している人材

先端技術活用のリーダー
 DX、知財管理、研究開発等の特定分野の深い専門知識を
 活かし、事業を推進する人材

プロジェクト推進のリーダー
 対象領域における幅広い知識と多面的な視野を持ち、
 各分野の担当者をまとめ上げる人材

 **採用**

理念による採用ブランディング

- ・ 成長とビジョンの訴求
- ・ ポテンシャル採用
- ・ 経営陣直下の迅速な採用決定

 **育成**

挑戦できる環境

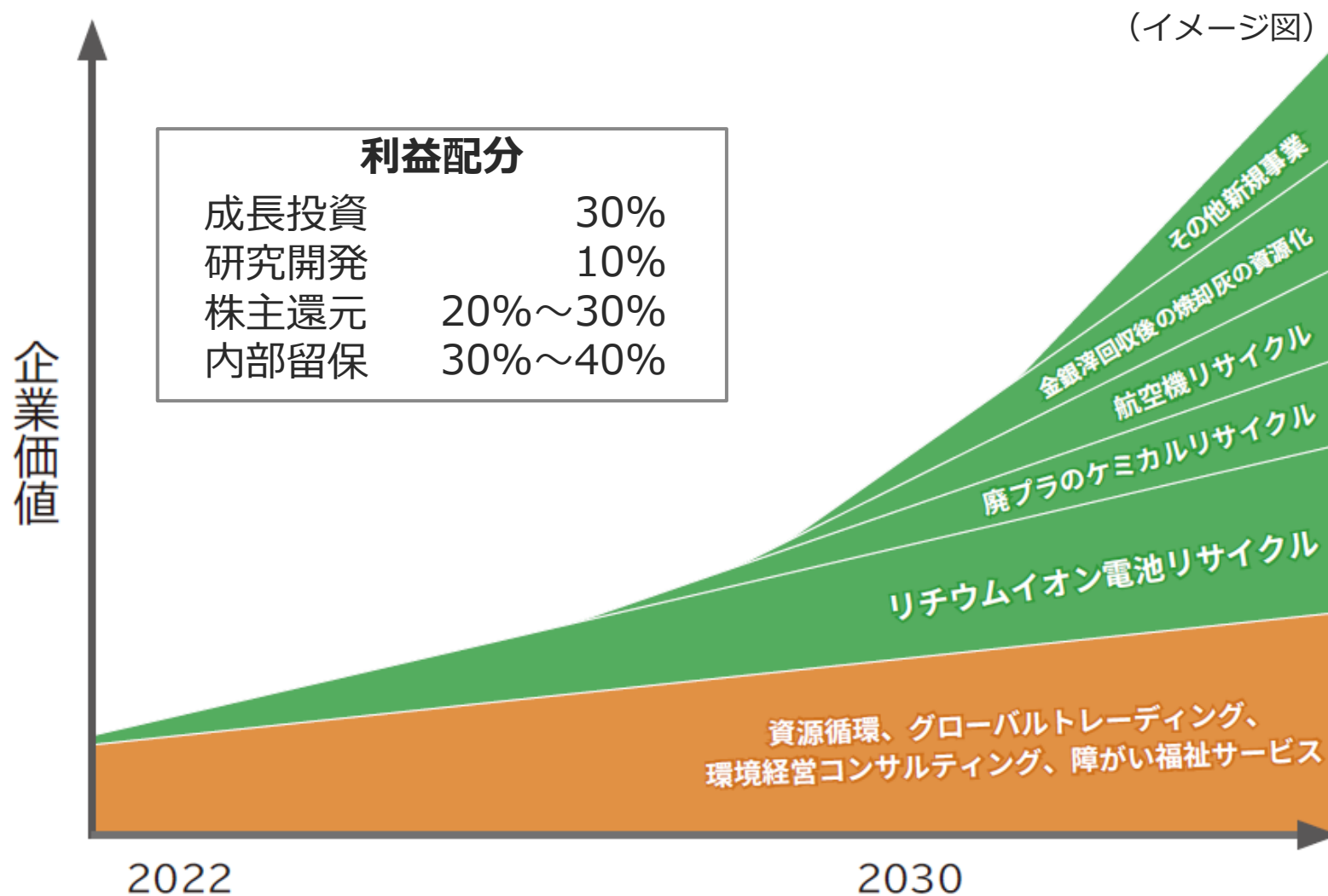
- ・ 果敢な挑戦と失敗を容認する文化
- ・ グループ横断企画へのアサイン
- ・ 経営陣直下のプロジェクト組成

 **定着**

エンゲージメント向上施策

- ・ 柔軟なポジション変更
- ・ ベースアップ、賞与増額、株式報酬
- ・ 経営陣との活発な対話、議論

既存事業の深化または撤退、成長分野への積極的投資及び新規事業の探索で
事業ポートフォリオを最適化する



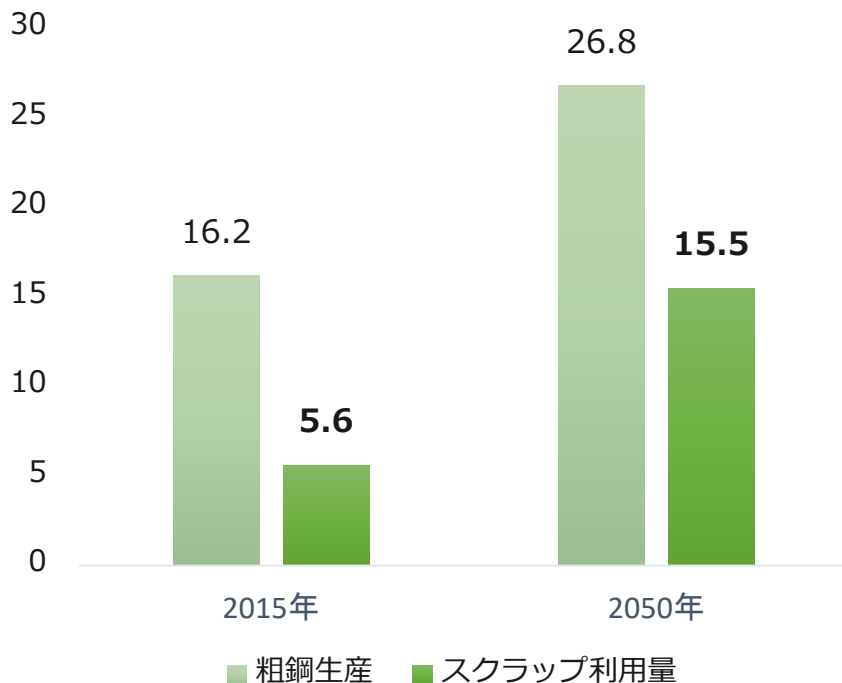
目次

1. 中期経営計画

2. 参考資料

世界の鉄鋼生産予測 粗鋼生産：スクラップ利用量

(単位：億 t)



出所：一社) 日本鉄鋼連盟「長期温暖化対策ビジョン (鉄鋼蓄積並びに鉄鋼生産等推移想定)」
2018年11月19日公表 より引用して抜粋 (抜粋した数値を基に当社グラフ作成)

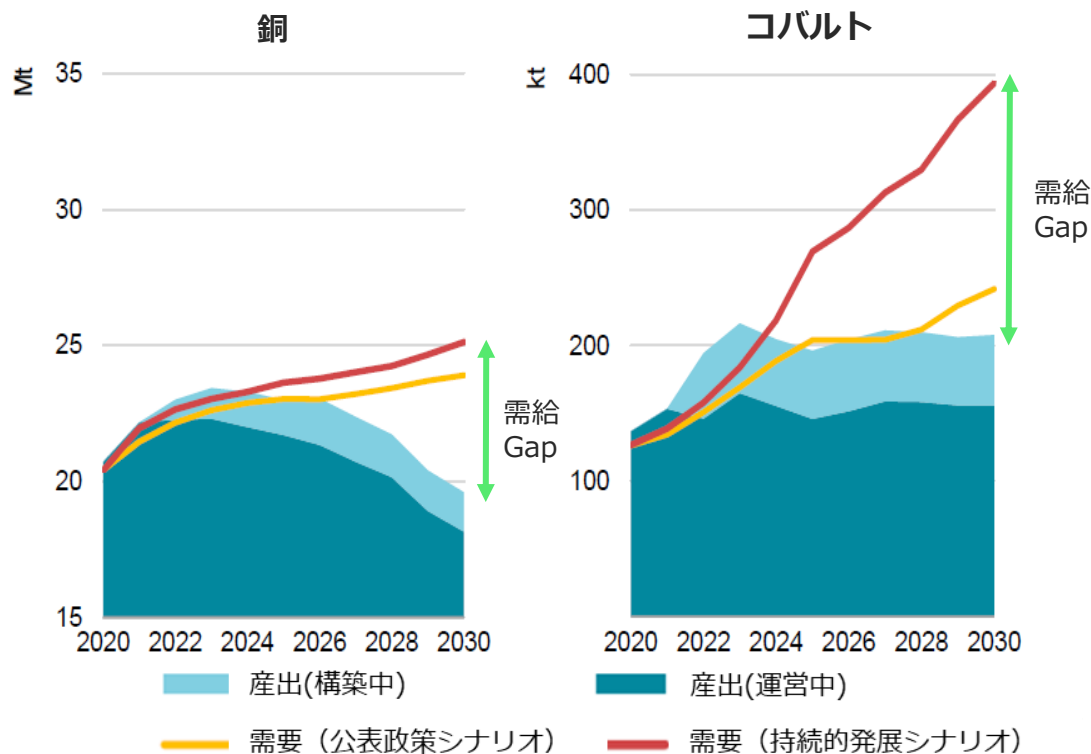
高炉に比較して製造プロセスのCO₂排出量が1/4である電炉では、エネルギー源が電力であるため供給する電力を再エネにすればカーボンニュートラルを実現

出所：環境省HP「中長期ロードマップ小委員会 (第5回) 議事録」

高炉メーカーの大型電炉設備の新設、転炉での鉄スクラップ混合率の上昇

脱炭素化の社会では、鉄スクラップ (グリーンマテリアル) 需要の拡大が見込まれる

■クリーンエネルギー技術の普及による非鉄金属・レアメタルの需給ギャップ



需給ギャップが増大する事が予測され、これらの非鉄金属・レアメタル価値は高値安定で推移することが見込まれる

出所：IEA World Energy Outlook Special Report 「The Role of Critical Minerals in Clean Energy Transitions」
日本語訳：当社

脱炭素化の加速は都市鉱山からの非鉄金属・レアメタルの二次原料（グリーンマテリアル）需要をより一層拡大させる

本資料に関する注意事項

本資料は投資家の参考に資するよう、株式会社エンビプロ・ホールディングスの現状を理解していただくために作成したものです。

本資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。



本資料及びIRに関するお問い合わせ先

株式会社エンビプロ・ホールディングス
経営企画部

TEL (0544) 21-3160

URL <https://www.envipro.jp/>